東京都環境局　栗岡祥一局長殿

阿佐ヶ谷駅北東地区におけるけやき屋敷開発に関する申入れ

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　２０２０年８月２１日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　日本共産党杉並区議団

　巨大な施設建設が計画されている阿佐谷駅北東地区のけやき屋敷は、杉並区の中心的市街地でありながら貴重な自然が残されており、今後とも保全が求められている地域です。さらに数年前から都が絶滅危惧種に指定しているツミが生息していることも確認されており、生物の多様性保護の立場からも自然環境の保全が求められています。

杉並区も、既存樹木の減少に歯止めをかけるために創設した制度である「杉並らしいみどりの保全地区」に同地域を指定するとともに、「みどりの顕彰・表彰屋敷林」にも指定してきました。さらに対象地域は、東京都が「旧跡」に指定しており、歴史的にも重要な地域です。

　そうした同地域の重要性を無視し、杉並区も参画してけやき屋敷に巨大施設建設を進めようとすることは見過ごすことはできません。今後、東京における自然の保護と回復に関する条例（以下条例）もとづく手続きが進められようとしていますが、こうした段階にあたり、日本共産党杉並区議団として、条例の厳正な執行を求める立場から以下申入れます。

1. 既存樹木の保全について

　けやき屋敷は大径木だけでも１２７本が生育していますが、杉並区が最近決定した地区計画では既存樹木のうち地域を指定して保全する樹木数は４０本程度（区の答弁）で、事業者の判断によってさらに減少されかねない状況です。

　私たちは、今回の申入れにあたり、条例改定の経過を知るために自然環境保全審議会の「答申」（平成２１年）等にも立ち返ってみましたが、そこでは既存樹木の保全、屋敷林の重要性が言及されていました。東京都環境局は、こうした答申の見地にたって、既存樹木が保全されるよう厳正に対応していただきたい。

　また、杉並区が環境局との協議もなしに既存樹木の大量伐採を容認するような地区計画を定めたことについても、その経過も含め調査し、厳正に対応していただきたい。

　さらに、協議にあたっては、杉並区の自然保護を担当する部署の意見も都として直接聴取していただきたい。

1. 絶滅危惧種ツミの保護・保全について

　対象地は、杉並区の調査でツミが生息し、隣接地の樹木に巣が設けられ雛がかえるという営巣活動まで確認されています。明らかに対象地は「営巣中心域」にあたります。こうした状況は、けやき屋敷が既存樹木だけでなく多様な動植物が生育していることを示すものです。

　環境局が発行している「開発許可の手引き」では、行為地で猛禽類の生息が認められた場合、環境庁の「猛禽類保護の進め方」にもとづき、樹木伐採の禁止や工作物にたいする規制、施工にあたっての規制など示しています。

さらに、前記した自然環境保全審議会「答申」でも「都市における生物多様性の保全」の重要性が強調され、「既存の緑は、動植物の生息・生育基盤や土壌保全など地域の生物多様性の保全に欠かせない」と指摘しています。

しかし杉並区は、地区計画において当該地域の容積率引き上げ、高さ制限の緩和を決め、すでに事業者側は９階建ての巨大施設整備を計画しています。こうした猛禽類保全を無視して施設整備を優先するという姿勢を見過ごすことは許されません。

東京都環境局は、都のなかでも絶滅危惧種の保全に責任を負う局であり、開発計画から絶滅危惧種が保全・保護されるよう対応されることを求めます。

1. 区民意見に耳を傾け、その声を尊重すること

　開発行為の適否の判断にあたっては、当該地域の住民がどのような判断をし、意見をもっているのかを把握することも重要と考えます。日本共産党杉並区議団が実施した住民アンケート調査では、回答者の８６％が樹木を削減すべきでないと回答し、９１％がツミの保護を優先すべきと回答しています。都として、こうした住民の声を重く受け止めて対応していただきたい。

1. 許可か協議かについて

　本件について都は、区画整理事業であり、条例４条にもとづき「知事の許可」ではなく「知事に協議」する対象と判断していると思います。しかし、この点は調査と検討を求めるものです。

　けやき屋敷での民間施設整備計画は、区画整理事業検討の以前に地権者と整備事業者とで合意していたものであり、区画整理事業の主な事業は既存道路の部分的拡幅と区画道路の整備などです。けやき屋敷での整備計画も整備の執行も直接当該法人が行うものです。したがって東京都が自然保護条例にもとづき対応すべきは、施設整備を進める当該法人であり、協議ではなく許可の対象ではないでしょうか。

　都環境局として、本計画をめぐる経過、区画整理事業と本計画との関係など、あらためて調査し、検討されることを求めます。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　以上